



会 議 録

八幡市教育委員会

開催日時	令和5年10月17日（火曜日） 午後2時15分～午後2時45分		
場 所	本庁舎5階 会議室5-2		
出席委員名	小橋 秀生（教育長） 橋本 陽生（職務代理者） 佐野 恵理子	八頭司 めぐみ 狩野 理恵子	
委員を除く出席者の職・氏名	部長 辻 和彦 参 与 川 中 尚 こども未来課長 長尾 忠行 子育て支援課長 成田 孝一	教育支援センター所長 安達 里香 教育集会所館長 山中 友順 教育集会所主幹 田原 麻衣 生涯学習課長 辻 博之 こども未来課 加川 美和	

1. 開 会

2. 報 告 事 項

(1) 第七回徒然草エッセイ大賞について (生涯学習課) ※資料1

3. 議 題 (協議事項)

(1) 八幡市の教育行政について

4. その他

・ 園・学校訪問について

5. 配付資料について

・ 9月分議事録（写し）

5. 閉 会

※次回定例教育委員会

日時：11月14日（火）午後3時から

場所：庁舎3階 教育委員会室

※学校訪問先

橋本幼稚園（10：00）

くすのき小学校（11：30）



	内 容
[ 教 育 長 ]	<p>1. 開 会            それでは、令和5年10月度の定例教育委員会を開催いたします。</p>
	<p>2. 報告事項をお願いします。報告事項（1）第七回徒然草エッセイ大賞について、事務局より報告願います。生涯学習課。</p>
	<p>2. 報 告 事 項</p>
	<p>（1）第七回徒然草エッセイ大賞について</p>
[ 辻 課 長 ]	<p>第七回徒然草エッセイ大賞について、ご報告いたします。恐れ入りますが資料1をご覧くださいと存じます。「ときめき」をテーマに本年6月2日から9月21日まで作品募集を行い、その総数（確定値）が出ましたのでご報告いたします。</p>
	<p>応募総数は2,404通、内訳は一般の部1,161通、中学生の部744通、小学生の部499通となっております。一次選考、二次選考、最終選考を経て、2月上旬には受賞作品が決定する予定です。受賞式を、令和6年3月16日石清水八幡宮の清峯殿にて開催する予定となっております。以上ご報告いたします。</p>
[ 教 育 長 ]	<p>ただ今の報告事項につきまして、委員よりご質問等はありませんか。</p>
[ 橋 本 委 員 ]	<p>本当に徒然草は毎回充実してきて、非常に期待しております。今回も多くの方が応募されているということ安心しているところですが、本市の応募者数はそれぞれのジャンルにわたってもし揃っておられるようであればお教えいただきたい。あ、ここに書いてあるのか。失礼しました。前回と比べてこの辺りがどのように変化しているのか、ご回答いただけたらありがたいです。</p>
[ 辻 課 長 ]	<p>前回と比べての評価でございます。第六回の応募総数と比べ、全体的には減少しているところでございます。その要因といたしまして、コロナ禍の間中は在宅時間が長く、執筆に時間の余裕がございましたが、今年度は本格的にコロナが明けた最初の年となりましたので、外出される機会が増加したからではないかと考えております。</p>
	<p>特に高齢の年齢層の応募が減少しているところでございますが、今回のテーマは「ときめき」ということで、比較的若い年齢層が書きやすいテーマとなっていたことも要因として考えております。</p>
[ 教 育 長 ]	<p>他にご質問等はありませんか。</p>
[ 狩 野 委 員 ]	<p>意見というほどではないのですが、本当に毎回素敵な取り組みだと思っております。今年度、減少している背景を少し分析してお話していただきましたけれど、本当に素敵な取り組みでいつも感動させていただくので、また来年度以降ですけれどもPRの方をしっかりと全国的に広げていただいて、八幡の方はもちろんですけれど、全国各地から色んな応募があれば素敵だなと思いますので、今後の啓発活動をどうぞよろしく願いいたします。</p>
[ 教 育 長 ]	<p>他にご質問等はありませんか。ないようでありますので、これにて報告事項を終結いたします。次に3. 議題に入らせていただきます。（1）「八幡市の教育行政について」、を議題といたします。</p>
	<p>3. 議 題（協議事項）</p>
	<p>（1）八幡市の教育行政について</p>
[ 教 育 長 ]	<p>本日、案件はございませんが、委員の皆様からご意見・ご質問等、何かありますでしょうか。ないようでありますので、次に、4. その他に入らせていただきます。本日の、「園・学校訪問について」のご意見はございますか。</p>
	<p>4. その他</p>
[ 狩 野 委 員 ]	<p>本日は第四幼稚園と男山第三中学校に寄せていただきました。第四幼稚園は今年度で閉園ということで、5歳児の1年だけで15人という人数でしたので、園長先生は色んなお子さん15人の色が濃いんですとおっしゃってましたけれど、やっぱり全体的にちょっと寂しいなと思いはあったかなと思います。15人でも一人ひとりに応じた指導ということで、例えば他園では誕生会を月ごとに行うということをしてはいますが、本人の誕生日に合わせて誕生会をしているという取り組みがあって、なるほどと感心したところです。</p>



園長先生に伺っていますと、異年齢との関りであったり多人数との関わりがなかなか持てないということですし、過去小人数の園と多人数の園が交流等しておりましたけれど、そういう時は少人数の園は子どもの勢いがなかなか出にくかったり、緊張度が高かったりというのを感じておりました。今年度も5歳児同士の交流をするということで、第四幼稚園の方に橋本幼稚園が来られたり八幡幼稚園が来られたりという活動が少しありましたということですが、年度当初は第三幼稚園としっかり交流しながら、集団力というか人と出会う中で人間性を育むということの大事さを思ってもらったのではなかったかなと思いつながらお話を伺っておりました。

[ 成田 課長 ]

子育て支援課として第四幼稚園へのフォローというか支援体制というのはどのようにされているのか、聞かせていただけたらありがたいです。

第四幼稚園にだけ何か特別に支援をしているということはありません。おっしゃっていただいたように再編の時期を迎えますので円滑な再編に向けて、例えば今使っている備品をどうしたらいいかという相談を常に聞きます。我々も出来るだけ園の負担がないように、使わない物は置いておく、まだ使えそうな物は各園の園長に見学ツアーをして欲しい備品にシールを貼っていく取組をさせていただいております。今現在、課としては再編に向けてそういった取組を進めさせてもらっているところです。

[ 狩野 委員 ]

先ほどご案内いただいたように5歳児の交流ということで、今年は10月26日に第四幼稚園で予定しております。バスをお借りして各園を回り、みんなでバスを乗り合わせて第四幼稚園に向かう工夫をしておりますので、もしお時間があるようでしたらまた遊びに来ていただけたらと思います。

備品のことが出てきましたけれど、先日運動会を少し覗かせていただきました。運動会には元職員やPTAの会長さん等がお越しになられていました。「もう第四幼稚園最後だし」ということで、色々な方の熱い思いが園の中に籠っているかなと思います。

本日の訪問でぐるっと回らせていただいたら「これ、私の字」とか、いろいろ昔からPTAの方、園の中でやってきた取組があちこちにございまして、もうこれが無くなるということ自体がすごく寂しいなと思いました。大きな園でしたので関わった地域の方、吉井・松里の地域の方が第四小学校が無くなる時にもおっしゃっていたんですけれども、第四小学校・第四幼稚園に対する地域愛というのがすごく大きかったかなと思うんです。

第四幼稚園で勤務させていただいた時も成人した人が「懐かしいし、ちょっと幼稚園見せてください」という言葉と共に見学に来られたりして、それは未だに中学生が来たりすると園長先生もおっしゃってまして、たくさんの方の思い出の場になっているのではないかなと思っています。それが無くなってしまふということで、寂しいなという思いを抱えた方がたくさんいらっしゃると思いますので、今まで第四幼稚園を愛してこられた方々への、何かあればいいのにといい思いを熱く持っていました。

[ 教育長 ]

PTAとは最後にバルーンを飛ばしたり何かしようかなと考えていますということをおっしゃっていましたが、それぞれあそこを愛した思い出のある方々にちょっと一般公開するとかいうようなことがあってもいいのかなと思いがしましたので、園や園長先生の負担のない程度で相談していただいて、気持ちよく閉められるような雰囲気づくりをしていただけたらありがたいなと思います。

[ 八頭司 委員 ]

他にご意見ご質問等はありませんか。

感想ですが、本日第四幼稚園でPTAの方が作られた布絵本や板に絵を描いたものがあって、それぞれの時代のお母さんやお父さん、おじいちゃんおばあちゃんもいらっしゃるかもしれないかもしれませんが、子どものことを思ってやってきたことがいっぱい詰まっていたので、それが今後も八幡に残る保育園やこども園にも引き継がれていったらいいなと思います。

ぜひ八幡市の皆さんに紹介する場があればいいなと思うぐらいすごく素敵な作品で、写真も撮らせてもらったぐらいで、保護者の子どもへの思いとかが八幡市全体で引き継がれていくといいなと思いました。

[ 教育長 ]

他にご質問等はありませんか。



[佐野委員]

私も感想ですが、何でもこれが最後という風にこの後12月、1月、2月と行事を進めて子どもを卒園させるのではなく、自分たちがいた園が最後にいた僕らだよ私たちだよと思えるような、卒園して良かったなと第四幼稚園を卒園していく子どもたちに思いを持っていただけるような行事の進め方をさせていただきたいと思います。

思い出に残るように、第四幼稚園を卒園して良かったなと子どもたちがずっと成長の中で心に残るような園にさせていただけるような思い出づくりも兼ねて、最後の園の締めを子育て支援課としては大変かと思えますけど、園長先生共々協力して迎えていただけたらなと思えます。

[教育長]

他にご質問等はございませんか。

[橋本委員]

重なるようなことになるかもしれませんが、八幡第四幼稚園は昭和52年4月に開園されているということで、もう46、47年になるんですか。非常に長きに亘ってしかも大きな園として歴代園長先生が心を尽くして就学前教育に真に携われ、子どもたちが巣立って先生との何と言うんでしょうか同窓会ではありませんけど、そんなこともやられることがあるような非常に愛される、先ほどから出ている地域に愛され園に愛着を残したまま八幡の中で育っていつてくれている、こういう素晴らしい大きな役割を果たしてこられたと思います。

他の園も同様かもしれませんが園が終わる締めくくり方ですね、いろいろ限られた条件があるのかもしれませんが、ある程度何か地域の愛着だったり、今まで育ってこられた方がもう一度思いを馳せるそういう機会があってもいいのではないかと。最後の卒園式をちょっと形があるものにするとか、あるいは今までの大きな業績的なもの、あるいは巣立った子どもたちの何か記録的なものが展示されて一定期間それを見に来る場面があったり、愛される地域の方に最後の別れではありませんけれども、散歩がてらに感謝の気持ちを表すようなそういう展示をすとか、歴代の園長先生等が思いを馳せて育ててこられ、そして子どもたちも愛着をもってまた幼稚園の方に帰ってくるというようなことを聞きますと、その辺りのところの何か取組ができないかなと。負担のない範囲で限られた形ではあるかもしれませんが、工夫していただければありがたいなと思います。ただ、今から時間的なものもありますし、これを園長先生云々というわけにもいきませんので、ぜひその辺り何かの件でご相談いただいて、ちょっと工夫していただくなり色々な制作をしていただければありがたいなということでもあります。

それから男山第三中学校の方ですけれども、ここは毎回訪問する度に「睡眠ログによる小・中学生生活リズム向上プログラム」を強調されておられます。不登校対策ということで、これは八幡市だけではなく非常に大きな問題になっているところでもあります。ところがこれは校長先生独自の頑張りによると言うところちょっと大げさかもしれませんが、国立青少年教育振興機構研究指定によって支援をもらって成り立っているものであるとお聞きしております。要は継続的な研究というんでしょうか、施策が進められる安定性を心配しておられますので、素晴らしい取組だと思えますし、現代的に不登校対策について非常に有効な指導・研究をされていると思えますので、安定的な施策が進められていけるようなバックアップをお願いしたいと思います。

[教育長]

他に何かご質問等はございませんか。

[狩野委員]

今日の訪問と違う話題になるんですが、先々週10月1週目の金曜日に保育園が、先週は幼稚園が運動会をされました。ちょっと時間を作って保育園2園と幼稚園4園を参観させていただきました。そこで感じたことを皆さんと共有できたらなと思って、ちょっとだけお時間いただけたら嬉しいです。

保育園ですけれど、2部制にして2・3歳の乳児さんが運動会の前半を、後半は4・5歳の幼児さんがということで、見せていただいた園は分かれてやっていました。

みその保育園でまず乳児さんを見せていただいて、保護者と一緒にその場でできるような取組をされていて、子どもの不安感・緊張感を解すような運動会の内容だったと思います。

入れ替えをした後、わかたけ保育園を見させていただきました。そこで感じたことが、例えば鉄棒という遊びを子どもたちが行うんですけれど、そこに主体性を感じたんです。自分



のできることに挑戦していくという内容だったんです。みんなが前回りをするのではなく、それこそよく園で豚の丸焼きと言って鉄棒にぶら下がったりする子もいれば、前回りをする子もいたり、逆上がりをする子もいて、縄跳びや鉄棒など自分のできることに挑戦していくような運動会だったので、すごくいい取組だなと感じさせていただきました。

いま主体的、多様的で深い学びを就学前から大事にするように言われておりますし、そんな風に子どもが無理に教えられて見事な発表をするのではなく、自分のできることを保護者の方に見てねという形で、胸を張って発表するというような方向に変わっていった点がすごくいいなと思って見させていただきました。

先週、各幼稚園4園を回らせていただいたんですけれど、それぞれ特色があって園の中でいろいろと工夫をされているなと感じました。

まず、八幡幼稚園に行かせていただいた時は5歳児の最後の方でしたが、簡単な組体操をしていました。私はこっそり入ったので後ろの方で見ていたのですが、横にいた保護者の方が5歳児の取組を見てずっと泣きっぱなしで、それぐらい感動されておりました。全園歳児が一緒になって運動会をするということは、子どもの成長をしっかりと見る、3・4歳児の保護者の方はいずれ我が子もこうなるんだと期待感が持てる大事な場で、コロナも5類になってみんなで参観できるようになるということは、こんなに素晴らしいことなんだなと思いました。

第四幼稚園は1クラスですので、保護者と子どもたちが一緒になって長い時間運動会をするという工夫をされていました。その中に子どもが今までやってきた遊びがいっぱい入っている。例えば割り箸のゴム鉄砲をつくっての的当てをすとか、そういう姿がありました。それこそ幼児期に育む資質能力だったり、幼児期の終わりまでに育てほしい姿を保育の中で取り入れて、それを運動会の中でも発表しているんだなと思いました。ほのぼのとして良かったなど。先ほども申しましたように、懐かしい保護者が「最後だから」と言って来てくれていたのも園に対する愛情だなと感じました。

第三幼稚園は3・4・5歳それぞれ八幡の中で一番人数がいるからか、運動参観という形でされており、3歳の子どもたちが先生と一緒に運動遊びを楽しむ、それも自分のできる無理のない範囲内でドキドキワクワクしながら自分のやりたいことに挑戦する、あそこは支援を要するお子さんがすごく多いので本当に走り回って、特に3歳児さんはあちこちに行っているお子さんがたくさんいたなと思いました。温かい雰囲気の中でやっていらしたのが印象的でした。

最後に橋本幼稚園に行かせていただいたんですけれども、見させていただいたのは4歳児と5歳児がメインでした。4歳児が1本足下駄に挑戦したり、ほのぼのとした雰囲気、あそこにも支援を要するお子さんが何人かいらっしやると思うのですが、みんなの前で発表して最後までやりきって「頑張ったね」とみんなから拍手をもらえる姿が見られました。締めくくりに5歳児が親子でリレーをされていましたが、保護者の方も一緒になって真剣に走っておられ、3・4・5歳が一つになる、そして最後に園長先生の挨拶が良かったなと思いました。こうやって子どもの育ちを見られるということ、自分の力に挑戦する、保護者の方に温かく見守っていただけることの大切さ、そういうことを最後にお話されていて、ものすごく温かい気持ちになる運動会だったなと思いました。

人数は少ないんですけれど、それぞれが一所懸命にやってらっしゃって、こういう発信をこれからも幼稚園として大事にしてほしいなということをしごく思った運動会だったので、また各園長先生によるしくお伝え願えたらありがたいです。

[ 教 育 長 ]

次に、5. 配付資料について、事務局より説明願います。こども未来課。

**5. 配付資料**

[ 長 尾 課 長 ]

配付資料は9月の議事録の写しをお配りしております。

[ 教 育 長 ]

何かご質問等はございませんか。無いようでありますので、次回定例教育委員会日程につきて、事務局から説明願います。こども未来課。

[ 長 尾 課 長 ]

次回の教育委員会の日程でございます。11月14日火曜日、午後3時から庁舎3階の教



育委員会室で行います。学校訪問につきましては、橋本幼稚園とくすのき小学校でございます。開始が10時からとなっておりますので、よろしくお願いいたします。以上でございます。

#### 5. 閉会

[ 教 育 長 ]

他に何かご質問等ございますか。それでは、以上をもちまして10月度の定例教育委員会を閉会させていただきます。どうもありがとうございました。

## 第七回徒然草エッセイ大賞応募状況について

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,161	411	701	49	25	1,136
2	中学生の部	744	581	161	2	348	396
3	小学生の部	499	497	2	0	494	5
合計件数		2,404	1,489	864	51	867	1,537

テーマ 「ときめき」

募集期間 令和5年6月2日(金)から9月21日(木)

今後の予定 一次選考 令和5年10月下旬から11月中旬

二次選考 令和5年11月下旬から12月

最終選考 令和5年12月下旬から1月下旬

作品決定 令和6年2月上旬

授賞式 令和6年3月16日(土) 石清水八幡宮 清峯殿

(参考)

## 第一回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:出会い

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,911	913	875	123	66	1,845
2	中学生の部	358	347	11	0	287	71
3	小学生の部	312	309	2	1	294	18
合計件数		2,581	1,569	888	124	647	1,934

## 第二回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:旅立ち

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,048	523	465	60	24	1,024
2	中学生の部	362	359	3	0	359	3
3	小学生の部	626	623	3	0	619	7
合計件数		2,036	1,505	471	60	1,002	1,034

## 第三回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:発見

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,612	763	789	60	27	1,585
2	中学生の部	390	385	5	0	266	124
3	小学生の部	774	769	5	0	767	7
合計件数		2,776	1,917	799	60	1,060	1,716

## 第四回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:変化

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,986	795	1,101	90	29	1,957
2	中学生の部	813	808	5	0	453	360
3	小学生の部	765	762	3	0	760	5
合計件数		3,564	2,365	1,109	90	1,242	2,322

## 第五回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:つながり

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,795	690	1,034	71	13	1,782
2	中学生の部	342	325	15	2	226	116
3	小学生の部	596	594	2	0	590	6
合計件数		2,733	1,609	1,051	73	829	1,904

## 第六回徒然草エッセイ大賞応募状況について テーマ:願い

番号	部門名	応募数	郵送	WEB	メール	市内	市外
1	一般の部	1,526	492	945	89	37	1,489
2	中学生の部	665	621	40	4	399	266
3	小学生の部	507	505	1	1	503	4
合計件数		2,698	1,618	986	94	939	1,759